

## 研究・研修について

### (1) 研究主題

一人一人がいきいきと輝き、学び合い、つながり合う子どもの育成

～国語科「話すこと・聞くこと」の言語活動の工夫を通して～

### (2) 主題について

本校では昨年度まで、保健体育科を中心に「児童が夢中になる」授業づくりについて研究を行ってきた。授業づくりの研究を重ね、児童の考えや思いを教師がどのように引き出し、児童同士がつながる機会をどのように構築していくかについて議論してきた。また、児童がより主体的に取り組むための授業展開や教具、場の設定、交流方法の工夫も行ってきた。また児童は、主体的に他者とつながる経験を重ねてきた。今後の研究では、児童がこれまでの学習や経験で培ってきた力を様々な場面にかせるよう、児童が主体的に取り組めるような授業づくりを進めていきたいと考える。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴って、様々な制限や規制があった。学校行事での制限、ソーシャルディスタンスの確保等の制限がある生活が日常とされていた。学習においても、ペア・グループ学習の制限がかかり、子ども同士でのつながりに大きな影響を及ぼした。少しずつ規制が緩和されていく中で、本校の研究主題でもあった「つながる」といった部分での経験不足による不器用さが明らかとなっていた。また、相手に自分の考えを伝えることや相手の意見を聞くことに困難さを感じている児童も多くいる現状がある。

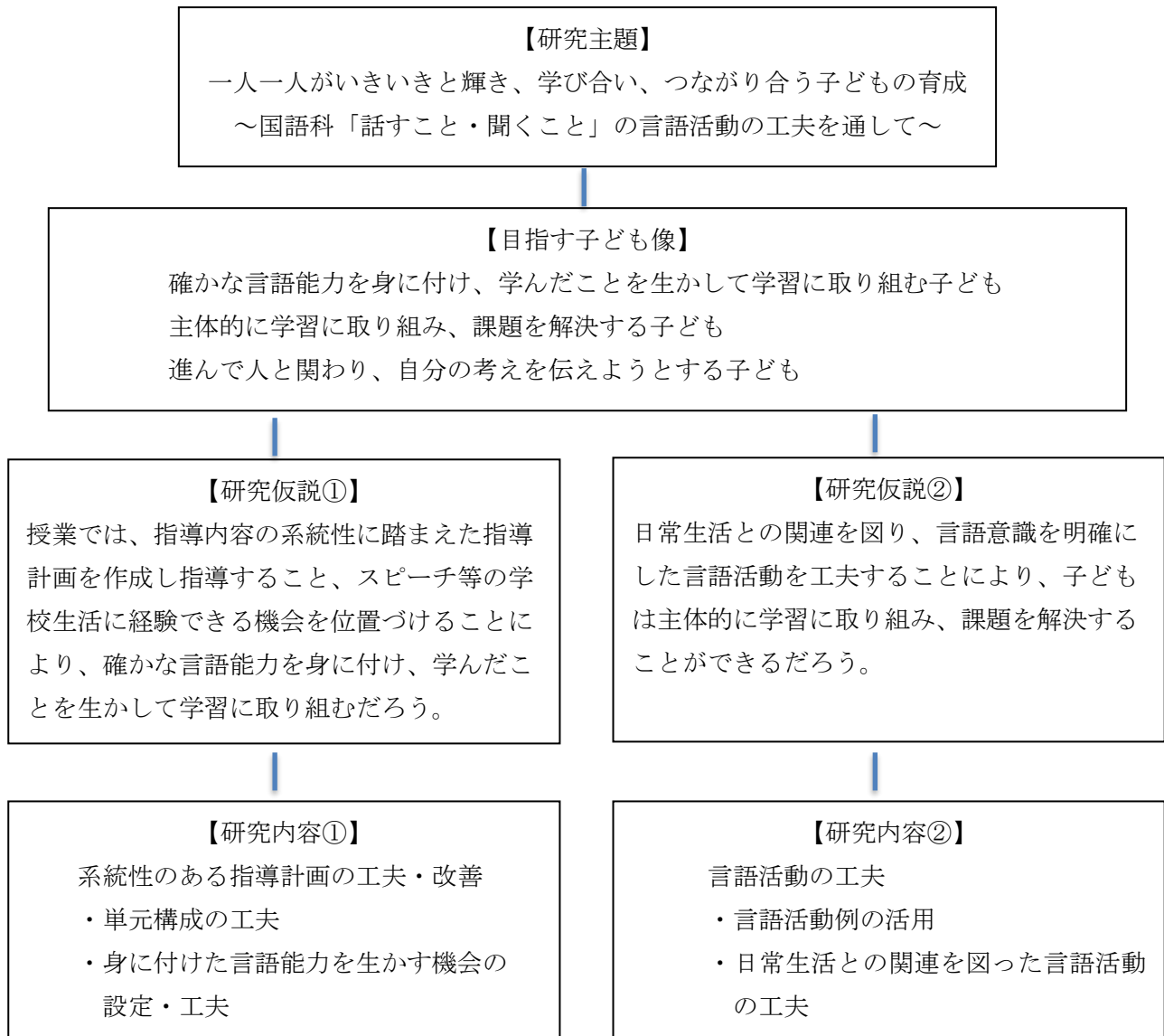
上記のことから、「話すことや聞くことの経験の重要性」を再認識し、本校における授業研究がさらに深化されるよう今年度の研究教科を国語科と設定する。

小学校学習指導要領では、国語科の目標を以下のように示されている。

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

### (3) 研究の全体構造図



### (4) 研究方法

#### 授業研究の充実

<研究教科>

国語科

<研究授業>

- 各学年部会から校内全体研究授業、学年部研究授業において授業発表を行う。  
校内全体研究授業については、講師先生を招き研究協議を行う。

<研究協議>

- 全体での協議やグループでの協議など様々な形での協議を行う。
- 討議の柱を設定して協議を行う。

<日程>

6月28日(水)

10月25日(水)

11月8日(水)

<指導方法の工夫>

- 自ら課題の解決を目指す活動が行えるように工夫すること
- 発達の段階を考慮した児童への指導・支援の仕方を工夫すること
- 児童が互いの関わり合いを深めつつ学習が進むように配慮すること
- 確かな言語能力を身につけ、学習への興味や関心を高めるように意図すること
- 学習カードやタブレット等を用いて、効果的に研究主題に迫れるよう工夫すること

## (5) 学校生活や家庭との連携

### 人権部、生徒指導部、特別支援教育部との連携

心をつなぐ集会の取組を継続し、児童の心を豊かにするような場を積極的に設けていく。また、生徒指導部を中心とした職員全員による学校のきまりの指導など、道徳的実践力を高める取組を継続していく。ねむの木学級は授業を公開し、職員の児童理解を深める。

### 家庭との連携

- 学校での児童の様子やがんばっていることを保護者に伝え、家庭と連携しながら児童を励まし伸ばしていく。
- 平成24年度に開始した「家庭学習の手引き」や「おうちでできたかなシート」の取組を深化・充実させ、家庭教育力の強化を図る。「家庭学習の手引き」は、内容について各学年で再度見直して配布する。「おうちでできたかなシート」は、家庭での生活を振り、保護者にも確認してもらう。そして、今後の指導に活かしていく。

## (6) 基礎学力の定着にむけた取組

### ① 学びタイム

木曜日と金曜日の業前を学びタイムに設定する。内容については児童の実態に応じて各学年で話し合い、タブレット学習やプリント学習等を用いる。継続した活動が可能なように工夫して行う。全職員で児童の実態を把握し、児童の基礎学力向上に努めていく。

### ② 家庭学習の充実

- ・宿題については、各学年で話し合い、学級で差が出ないようにする。  
(漢字学習・算数ドリル・音読を基本としながら、タブレット学習や日記も必要に応じて加える。)
- ・中学年と高学年においては、自主学習にも力を入れさせる工夫をする。
- ・学年だよりを通して、家庭への啓発を図る。学年で目標を決め、児童に働きかける。また、家庭学習の充実のために、各学年で決めた目標にそって家庭と連携し、充実を図る。